

<先週の説教から>

『黙示録 57 最後の戦いの結末』

エゼキエル書 39:17~21 ヨハネの黙示録 19:11~21

童話や映画やマンガなどでも、お姫様を助ける主人公として白馬の騎士が登場します。まさに救い主ですが、その元になっているのが今日の聖書の箇所です。即ち「そして、わたしは天が開かれているのを見た。すると、見よ、白い馬が現れた。それに乗っている方は、『誠実』および『真実』と呼ばれて、正義をもって裁き、また戦われる。」です。

実はこの箇所は、かつてイエス様がいよいよエルサレムの町に弟子たちを従えて入城なさった時のご様子とともに似ており、同時に対照的だと言い得るのです。似ている点は、エルサレムの城壁を開いて、入ってこられる時はまさに最期の十字架へ突き込まれることを意味していましたが、ここも天を開かれて地へと入られるのは最後の審判へ向かわれる時でした。そして、両方とも群衆の歓喜の声に迎えられます(一方は『ホサナ』、もう一方は『ハレルヤ』)。

しかし決定的に異なっている点は、入場の際に乗ってこられた動物が、かつては「ろば」であり、最後の時は「白馬」であった点です。ろばはおもに農耕や運搬に使われる動物で、それに乗って来られることは《平和》を象徴しています。しかし、馬は戦争の道具です。しかも白馬は王様や将軍が騎乗されるものです。故に、かつてのエルサレム入城は人々の罪の赦しと平和のためにこの世界に来られたことを表していましたが、今回の再臨は《最後の裁き=戦い》を下されるために来られたことを表すのです。この後の聖書の表現もこの点を表します。即ち「その目は燃え盛る炎のようで、頭には多くの王冠があった。」(12節)です。まさに「王の王、主の主」(16節)として再びこの地上に来られるのだと。

ただし、このように再臨のイエス様を描いている今日の箇所です。私たちが読み見過ごしてはいけない言葉があります。それが「また、血に染まった衣を身にまとって」(13節)おられるという言葉です。この血が何の血であるかということが昔から問題にされてきました。古くは、最後の審判を実施されて裁かれた者たちの血だと、つまりイエス様は悪人たちの返り血をここで浴びておられるのだと。しかし、まだイエス様はこの世界に来られたばかりであり、最後の審判を行われる

のはまだこの後ですから、ここですでに返り血を浴びているのはおかしいことになります。それ故、この血はむしろ十字架の血ではないかと。ただ、十字架に付かれた時に、イエス様は衣を着ておられたらうか、また、十字架の血が今に至るまでずっとイエス様の衣に付いていたということなのか、疑問が残ります。むしろ、イエス様は天上におられる直前まで、私たちの罪の赦しのために血を流して、執り成してくださっておられたと採るのがふさわしいのではないかと思います。天において、神様の右に座られ、ずっと私たち罪人のために赦しを与えてくださっていたのです。だから、直前までその衣が血に染まっているのだと。しかし、その天から地に降られるということは、もはや罪の赦しを行われぬ、これからは裁きの時へと向かわれるということの意味しているのではないのでしょうか？

今も、私たちのことを愛し、罪を赦し続けてくださっていることを感謝したい。同時に、この赦しがある間に、自らの罪を悔い改め、主のみ前に頭を垂れる者でありたい。

【今週の集会】

●聖書研究・祈祷会 I. 6月 16日 (水) 20:00
II. 6月 17日 (木) 10:30

聖書: エゼキエル書
祈祷主題: シャロームの会を覚えて
担当者: (水) 相浦 喜 (木) 坂田豊子
祈る人: 伊藤さん 岩井さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 24 女 63 計 87
祈祷会 I. 男 4 女 3 計 7
祈祷会 II. 男 5 女 7 計 12
日曜学校 幼稚科 7 小中科 15 計 22
ハンナの会 6月8日 (火) 男4 女6 計10

【次週礼拝】

6月 20日 (日)
聖書: 創世記 50:15~21
ルカによる福音書 6:37~42
説教: 「赦して生きる道」

石原 勝代 牧師
讃美歌: 132、32、498、394、90

【次週当番表】

司式: 羽倉長老 奏楽: 岩井 礼拝: 茨木長老
献金: 武田 圓谷 受付: 鈴木 橋本
会堂準備: 小杉 富沢 長田 橋本
北條

看板: 土門 週報: 吉岡 お花: 羽倉

【次週集会予定】・聖書輪読会

礼拝後: ・オリブの葉編集委員会 ・日曜学校教師会

週報

2021年度 教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

2021年 6月 13日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>